

令和6年度「県立学校による地域との協働推進事業」実施報告書

番 号	②	学 校 名	ろう学校
-----	---	-------	------

1. 事業内容について

取組・活動・事業名等	(1) 学園祭 (2) 地域の方々と触れあおう
教育課程上の位置付け・目標又は活動のねらい	(1) 小学部、中学部、高等部「特別活動」で実施。総合的な学習等で取り組んだことを活かしながら、学習成果をまとめて発表する。主体的な活動を通して生徒同士の連携を深める。 (2) 小学部「特別活動」で実施。地域の人たちとの交流を通して、自らが社会の一員としての役割を果たすために必要となるについてことについて主体的に考えて行動する。
連携・協働相手	(1) (2) 筒井地区自治会、筒井近隣地区
地域と共有している目標・課題等	(1) (2) 学校と近隣住民との連携機会を創出
取組・活動の内容（生徒の主体性、具体的活動、連携・協働内容など）	
(1) 生徒が学園祭を地域の方々と一緒に作るという気持ちを持ち、企画、運営を行った。地域の特産品を販売したり、地域人材を活用した催し物などを企画したりするなど、学校と近隣住民との連携機会を創出した。 (2) ろう学校がある筒井地区の人たちの話を聞いたり、一緒に活動したりする機会を設け、様々な人たちに支えられて学校生活を過ごすことができていることを実感することができた。	

2. 事業の成果と課題

(1) 筒井地区自治会や筒井近隣地区に声をかけ、射的や飲食店、地域防災の啓発といったブースを運営していただき、地域に根ざした学園祭の企画、運営に関わっていただくことができた。 (2) 小学部1年生の生活科では、「おかしからのあそびをたのしもう」という学習で筒井地区自治会の方々からこまの回し方などを教えて頂く機会を設けることができた。 【児童の感想】「こまをおしえてもらって、まわせるようになりました。」

